

智頭急行株式会社の業務及び財務に関する資料について

鳥取県情報公開条例第38条第2項の規定により、次の資料を閲覧に供します。

〒689-1402

鳥取県八頭郡智頭町智頭2052-1

智頭急行株式会社

代表取締役社長 城平 守朗

0858-75-6600

閲覧資料

- 定 款（2021年6月11日現在）…………… 1P～5P
- 役員名簿（2021年6月11日現在）…………… 6P
- 事業報告（2020年度分）…………… 7P～14P
- 貸借対照表（2020年度分）…………… 15P
- 損益計算書（2020年度分）…………… 16P
- 株主資本等変動計算書（2020年度分）……… 17P

○定 款

第 1 章 総 則

(商号)

第 1 条 当社は、智頭急行株式会社と称する。

(目的)

第 2 条 当社は、次の事業を営むことを目的とする。

- (1) 地方鉄道業
- (2) 不動産賃貸業、不動産売買業及び不動産管理業
- (3) 旅行業
- (4) 広告業
- (5) 食堂、喫茶店の経営並びに飲食料品及び日用雑貨品の販売
- (6) 収入印紙及び郵便切手の売りさばき
- (7) 酒類及びたばこの販売
- (8) 前各号に付帯関連する一切の事業

(本店)

第 3 条 当社は、本店を鳥取県八頭郡智頭町に置く。

(公告)

第 4 条 当社の公告は、電子公告とする。

<http://www.chizukyu.co.jp>

ただし、電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、官報に掲載する。

第 2 章 株 式

(発行する株式の総数)

第 5 条 当社の発行する株式の総数は、20,000株とする。

(額面株式 1 株の金額)

第 6 条 当社の発行する額面株式の 1 株の金額は、50,000円とする。

(株券の種類)

第 7 条 当社の発行する株式は、すべて記名式とし、株式の種類は、1 株券、10株券及び100株券の 3 種類とする。

(株式の譲渡制限)

第 8 条 当社の株式を譲渡する場合は、取締役会の承認を受けなければなら

ない。

(株主の住所、氏名及び印鑑の届出)

第9条 当会社の株主、株式の登録質権者及び信託財産の受託者又はその法定代理人若しくは代表者は、当会社所定の書式により、住所、氏名及び印鑑を当会社に届け出なければならない。これを変更したときもまた同様とする。

2 前項の届出を怠ったため生じた損害については、当会社はその責めに任じない。

(株式の取扱)

第10条 当会社の株式の名義書換、質権の登録、信託財産の表示、株券の再発行、その他株式の取扱いに関する手続き及びその手数料については、取締役会が定める。

(株主名簿の閉鎖及び基準日)

第11条 当会社は、毎決算期の翌日からその決算期に関する定時株主総会終結の日まで株主名簿の記載の変更を停止する。

2 前項に定めるもののほか必要あるときは、あらかじめ公告して、臨時に株主名簿の記載の変更を停止し、又は基準日を定めることができる。

第3章 株主総会

(株主総会の招集)

第12条 当会社の定時株主総会は、決算期から3箇月以内に招集し、臨時株主総会はその必要がある場合に随時招集する。

(招集者及び議長)

第13条 株主総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、取締役会の決議に基づき取締役社長がこれを招集し、かつ、議長となる。ただし、取締役社長に事故ある時は、あらかじめ取締役会の決議をもって定めた順序に従い、他の取締役がこれにあたる。

(招集地)

第14条 株主総会は、本店所在地又は鳥取県、岡山県若しくは兵庫県地内において開催する。

(決議方法)

第15条 株主総会の決議は、法令又はこの定款に別段の定めがある場合を除き、出席した株主の議決権の過半数をもってこれを決する。

(議決権の代理行使)

第16条 株主が代理人により議決権を行使しようとするときは、その代理人は

代理権を証する書面を当会社に提出しなければならない。

(議事録)

第17条 株主総会の議事については、議事録を作成し、これに議事の経過の要領及びその結果を記載し、議長並びに出席した取締役が記名押印し、会社に保存する。

第4章 取締役、監査役及び取締役会

(役員)

第18条 当社の取締役は20名以内、監査役は3名以内とする。

2 取締役及び監査役が任期中に退任しても、その法定員数を欠かないときは、補欠選任を行わないことができる。

(役員を選任)

第19条 取締役及び監査役は、株主総会において選任する。

2 取締役及び監査役の選任は、総株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数で行う。

3 取締役の選任については、累積投票によらないものとする。

(任期)

第20条 取締役の任期は、就任後2年以内の最終の決算期に関する定時株主総会の終結の時までとし、監査役の任期は、就任後4年以内の最終の決算期に関する定時株主総会の終結の時までとする。

2 補欠又は増員によって就任した取締役の任期は、他の取締役の残任期間とする。

3 補欠によって就任した監査役の任期は、前任者の残任期間とする。

(顧問)

第21条 取締役会の決議により、顧問を置くことができる。

(代表取締役及び役付取締役)

第22条 当社に取締役会長1名、取締役副会長2名、取締役社長1名、必要に応じて専務取締役及び常務取締役若干名を取締役会の決議により選任することができる。

2 当社の業務は取締役社長が統括し、専務取締役及び常務取締役は取締役社長を補佐し、定められた事務を分掌する。

取締役社長に事故あるときは、取締役会の決議をもってあらかじめ定めた順序により他の取締役が取締役社長の職務を代行する。

3 当社を代表すべき取締役は、取締役会の決議により選任する。数人を選

出した場合においては、各自当会社を代表する。

(取締役)

第23条 取締役は、取締役会を組織し、会社の業務執行を決定する。

- 2 取締役会は、法令に別段の定めがある場合を除き、取締役社長がこれを招集し、かつ、議長となる。ただし、取締役社長に事故あるときは、あらかじめ取締役会の決議をもって定めた順序に従い、他の取締役がこれにあたる。
- 3 取締役会の招集通知は、会日より3日前までに発するものとする。ただし緊急の必要がある場合には、その期間を短縮することができる。

(取締役会の決議方法等)

第24条 取締役会の決議は、取締役の過半数が出席し、その過半数をもって決する。

- 2 取締役会の議事については、議事録を作成し、これに議事の経過の要領及びその結果を記載し、出席した取締役及び監査役が記名押印し、会社に保管する。

(役員報酬)

第25条 取締役及び監査役の報酬総額は、株主総会において各別に決定し、その配分は、取締役の報酬については取締役会において決定し、監査役の報酬については監査役の協議によって決定する。

第5章 計 算

(営業年度及び決算期)

第26条 当会社の営業年度は、毎年4月1日から翌年の3月31日までとし、毎営業年度末日を決算期とする。

(利益配当金)

第27条 利益配当金は、毎営業年度末日の株主名簿記載の株主又は登録質権者にこれを支払う。

- 2 利益配当金は、その支払提供の日から3年を経過しても受領されないときは、当会社は支払の義務を免れるものとする。

○役員名簿

(2021年6月11日現在)

取締役会長	平井 伸治	取締役	萩原 誠司
取締役副会長	荒木 一聡		庵途 典章
	菊池 善信		遠山 寛
代表取締役社長	城平 守朗		石丸 文男
代表取締役常務	稲田 雅也		前根 伸彦
取締役	深澤 義彦		丸山 明則
	吉田 英人		
	金児 英夫	石田耕太郎	
	青木 秀樹	三宅 智章	
		監査役	

○第35期（2020年度）事業報告

I. 営業の概況

1. 業務執行状況

輸送の安全確保を最優先に全社員が一丸となって取組み、「社員の責に起因した鉄道運転事故」は無事故で終了いたしました。

(1) 輸送人員

ア. 特急列車 311,325人

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う2回の緊急事態宣言の発出、感染状況が落ち着いたことに伴うGoToトラベルキャンペーンの実施等の影響を受けて、輸送人員は大きな減少や回復基調を繰り返しながらも、年度間を通じて新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったこと等により、当期の累計で、スーパーはくと号は218,665人(前期比36.5%)と前期を380,325人下回り、スーパーいなば号は92,660人(前期比37.1%)と前期を157,101人下回り、特急列車全体では311,325人(前期比36.7%)と前期を537,426人下回り、大きく落ち込みました。運行期間が4カ月足らずだった1994年度を除くと、開業以来26年度間で最も少ない輸送人員となりました。

イ. 普通列車 203,638人

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う高校の臨時休校、外出自粛等の影響等により、当期の累計で、203,638人(前期比74.3%)と前期を70,566人下回りました。

(単位：人、%)

区 分		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第35期累計
スーパー はくと	人 員	24,703	53,517	84,244	56,201	218,665
	乗車率	7.8	16.1	25.8	17.6	16.9
	前期比	16.6	32.4	53.0	44.4	36.5
スーパー いなば	人 員	12,317	23,416	32,209	24,718	92,660
	乗車率	10.0	18.6	26.3	20.3	18.8
	前期比	19.3	34.0	48.3	49.0	37.1
特急列車 合 計	人 員	37,020	76,933	116,453	80,919	311,325
	乗車率	8.4	16.8	25.9	18.3	17.4
	前期比	17.4	32.9	51.6	45.7	36.7
普通列車	人 員	33,038	58,530	65,234	46,836	203,638
	前期比	44.1	78.9	88.4	91.5	74.3

(2) 収支状況

ア. 旅客運輸収入 507,517,564円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等により、旅客運輸収入が508百万円(39.5%)と前期より779百万円の大幅な減となりました。

イ. 運輸雑収入 1,400,172,543円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に伴う増結車両数の減等により、受取車両使用料が減少し、1,400百万円(94.8%)と前年度より77百万円の減となりました。

ウ. 営業費用 2,302,058,687円

新型コロナウイルス感染症の影響による大幅な収入減が見込まれたことから、安全な運行を確保するための必須の工事及び先送りが不可避な老朽化対策工事以外の工事の先送り等により修繕費を削減し、広告宣伝費をはじめその他の費用全体の見直しを最大限行ないました。また、軽油単価が下がったことによる動力費の減少、増結車両数の減等による支払車両使用料の減少等による経費の減少等により、営業費用全体では、2,302百万円(90.4%)と前期より245百万円の減となりました。

エ. 営業損益 △394,368,580円、経常損益 △356,124,861円

営業損益は、△394百万円(△182.5%)と前期より611百万円の減、経常損益は、△356百万円(△162.9%)と前期より575百万円の減となり、大幅な減収減益で1997年度以来23年度ぶりの赤字となりました。

オ. 収支状況

(単位:円、%)

区 分		第35期(2020年度)	第34期(2019年度)	差引額
収入	営業収益	1,907,690,107(69.0)	2,763,021,265	△855,331,158
	旅客運輸収入	507,517,564(39.5)	1,286,296,696	△778,779,132
	運輸雑収入	1,400,172,543(94.8)	1,476,724,569	△76,552,026
費用	営業費用	2,302,058,687(90.4)	2,546,883,447	△244,824,760
	人件費	491,646,896(100.5)	489,150,898	2,495,998
	修繕費	833,558,657(92.0)	906,077,173	△72,518,516
	動力費	196,111,246(69.3)	282,878,511	△86,767,265
	経 費	339,597,826(90.4)	375,489,334	△35,891,508
	諸 税	63,914,836(88.3)	72,395,569	△8,480,733
	減価償却費	377,229,226(90.0)	420,891,962	△43,662,736
営 業 損 益		△394,368,580(△182.5)	216,137,818	△610,506,398
営業外収益		55,091,076(379.0)	14,534,009	40,557,067
営業外費用		16,847,357(140.1)	12,026,128	4,821,229
経 常 損 益		△356,124,861(△162.9)	218,645,699	△574,770,560

(3) ダイヤ改正等

2021年春のダイヤ改正を3月13日に実施し、上郡駅での、通勤時間帯の相生・姫路方面への乗換え時間及び岡山方面からの乗換え時間を短縮しました。また、2019年3月のダイヤ改正で導入した「恋山形駅への列車利用促進を目的として、土日及び休日等に上り・下りの普通列車各1本計2本を恋山形駅に25分間停車させる」ダイヤは、引き続き実施することとしました。

(4) 安全対策等の実施状況

安全対策につきましては、経営トップと現場が一体となって安全を最優先とする企業風土の構築に向けて安全を更に確かなものとするため、社員一人ひとりが、「安全最優先の意識の醸成」を図るとともに、部外機関と

の協力体制の確立に向けて、規模の縮小、ウェブ会議、書面決議等により新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じた上で、沿線の消防署、警察署と協議や訓練を実施するなど連携を深めて参りました。

新型コロナウイルス感染症の影響による大幅な収入減が見込まれたことから、工事の先送り等により「中期経営計画2023」の投資・修繕計画を大きく見直しましたが、そのようななかにおいても、安全な列車の運行を確保するために必要な「激甚化する自然災害への備え」、「設備の老朽化対策」、施設設備及び車両の検査・修繕及び更新等を実施して、安全の確保と品質の維持向上に努め、安心・信頼していただける鉄道の提供に取り組みました。

〔主な修繕の状況〕

(単位：千円)

主な工事		金額	補助事業
線 路	恋山形・智頭間トンネル修繕	22,500	補
	恋山形構内・小股高架橋修繕(R8-1)	16,700	補
	恋山形・智頭間智頭トンネル漏水防止工修繕	12,000	補
小計		51,200	
車 両	HOT3500系全般検査及び臨時修繕工事	27,348	
	HOT7000系冷房装置整備工事	34,130	
	HOT7000系基礎ブレーキ部品	10,500	
小計		71,978	
合計		123,178	

〔主な設備投資の状況〕

(単位：千円)

主な工事		金額	補助事業
電 路	雨量観測設備改良（設備支給材料製作）	10,800	補
	雨量観測設備改良（設備設置工事）	22,900	補
小計		33,700	
車 両	HOT7000系構体調査工事	14,720	
	小計	14,720	
合計		48,420	

※主な修繕及び主な設備投資については、10,000千円以上の工事を記載しています。

(5) 新型コロナウイルス感染症対策の実施状況

「鉄軌道事業における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」の徹底、感染拡大を予防する「新しい生活様式」の定着などの感染拡大防止対策に取り組みました。

列車内の新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、列車内の換気装置を常時使用するとともに、お客様へその旨の案内放送を行いました。また、特急車両及び普通車両は、定期的な消毒を実施するとともに、車両の抗菌加工を行いました。

社員全員が出社時等に非接触型の温度計による体温測定を行い、マスクの着用及び手指の消毒を徹底し、一人ひとりが「うつらない・うつさない」との強い思

いで、感染リスクの高まる「5つの場面」への注意、不要不急の外出の回避などの感染対策への取組みを徹底しました。

また、お客様に「混雑緩和、手洗い、アルコール消毒、咳エチケット等」の感染リスク低減のための取組みを呼びかけました。

〔主な新型コロナウイルス感染症対策の状況〕

(単位：千円)

項目	内容	金額	補助事業
車両抗菌 (特急車両)	抗ウイルス・抗菌材を車両内に噴霧し、抗菌加工を実施	8,588	補
車両抗菌 (普通車両)	抗ウイルス・抗菌材を車両内に噴霧し、抗菌加工を実施	2,583	補
テレワーク対応	リモートアクセス装置整備 ノートパソコン(4台) 他	3,582	補 (一部)

※主な感染症対策については、1,000千円以上のものを記載しています。

(6) 企画きっぷ等の発売状況

JR西日本と連携の企画きっぷの「京阪神往復割引きっぷ」、「広島往復割引きっぷ」、「岡山往復割引きっぷ」、「東京往復割引きっぷ」の4種類の発売状況は、新型コロナウイルス感染症の影響で旅行、企業の出張の自粛等が行われ、特に山陰からの送り出しが大幅に落ち込んだこと等により、4種類とも特急列車の輸送人員の前期比よりも大幅に減少し、第35期の累計では87.0%～68.5%減となりました。

JR西日本及び日本旅行と連携の旅行商品の「かにカニ日帰りエクスプレス」は、今年日本旅行で、かに漁解禁の11月7日から3月21日まで発売され、GoToトラベルキャンペーンの対象となったことにより特急列車の輸送人員の前期比よりも減少幅は小さかったものの、新型コロナウイルス感染症の影響等により、前期比26.5%減となりました。

智頭急行独自の特急列車関係の企画きっぷにつきましては、普通乗車券又は普通回数券と同時にご利用可能な「自由席回数特急券」が前期比51.0%増となりました。

智頭急行独自の普通列車関係の企画きっぷにつきましては、100円券33枚綴りが3,000円で購入できる「特殊回数乗車券」が前期比25.8%増となり、免許返納の方が購入できる「優ユウきっぷ」が前期比17.9%増となりました。

いずれも特定のお客様の購入回数が増加したため、前年を上回りましたが、その他の企画きっぷは前年を下回りました。

〔企画きっぷ等の発売実績〕

ア. JR西日本と連携

従来の特別企画きっぷ (カッコ内は前期比)

企画きっぷ	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第35期累計	前期増減
京阪神往復 割引きっぷ	916枚 (7.9%)	1,787枚 (15.7%)	2,951枚 (26.0%)	2,042枚 (30.9%)	7,696枚 (18.8%)	△33,194枚

広島往復 割引きっぷ	738枚 (17.4%)	1,352枚 (30.9%)	1,540枚 (39.8%)	1,179枚 (42.4%)	4,809枚 (31.5%)	△10,452枚
岡山往復 割引きっぷ	377枚 (9.8%)	837枚 (20.7%)	1,189枚 (30.3%)	879枚 (31.0%)	3,282枚 (22.4%)	△11,386枚
東京往復 割引きっぷ	92枚 (11.2%)	79枚 (7.9%)	163枚 (17.6%)	112枚 (16.7%)	446枚 (13.0%)	△2,972枚

イ. JR西日本及び日本旅行と連携

駅プラン「かにカニ日帰りエクスプレス」(カッコ内は前期比)

	エリア	関西発	岡山発	合計	前期増減
かにカニ 日帰り エクス プレス	鳥取	208人 (31.5%)	20人 (15.9%)	228人 (29.0%)	△559人
	三朝温泉	1,390人 (90.7%)		1,390人 (90.7%)	△142人
	はわい温泉	871人 (81.5%)		871人 (81.5%)	△198人
	合計	2,469人 (75.7%)	20人 (15.9%)	2,489人 (73.5%)	△899人

ウ. 智頭急行独自

(ア)特急列車関係 (カッコ内は前期比)

企画きっぷ	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第35期累計	前期増減
定期券用自由席 回数特急券 自由席特急券430円を 1枚200円 5枚綴り1,000円	132冊 (45.7%)	223冊 (91.8%)	290冊 (99.0%)	212冊 (100.0%)	857冊 (82.6%)	△180冊
自由席回数特急券 自由席特急券430円を 1枚300円 5枚綴り1,500円	46冊 (135.3%)	57冊 (228.0%)	66冊 (161.0%)	47冊 (109.3%)	216冊 (151.0%)	+73冊

(イ)普通列車関係 (カッコ内は前期比)

企画きっぷ	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第35期累計	前期増減
智頭線1日 フリーきっぷ 大人 1,200円 小児 600円	372枚 (30.3%)	2,102枚 (56.0%)	999枚 (69.9%)	1,713枚 (105.5%)	5,186枚 (64.6%)	△2,845 枚
普通列車 ペアきっぷ 2名で2,000円	43枚 (19.8%)	178枚 (53.3%)	114枚 (46.2%)	168枚 (70.9%)	503枚 (48.6%)	△532枚
特殊回数乗車券 3,000円 (100円券/33枚綴り)	14冊 (66.7%)	22冊 (88.0%)	48冊 (184.6%)	38冊 (152.0%)	122冊 (125.8%)	+25冊
楽ラクきっぷ (70歳以上の方) 2,500円 (100円券/33枚綴り)	15冊 (40.5%)	27冊 (84.4%)	25冊 (75.8%)	31冊 (124.0%)	98冊 (77.2%)	△29冊

優ユウきっぷ (運転免許返納者) 1,500円 (100円券/33枚綴り)	12冊 (80.0%)	26冊 (130.0%)	23冊 (85.2%)	31冊 (193.8%)	92冊 (117.9%)	+ 14冊
--	----------------	-----------------	----------------	-----------------	-----------------	-------

(7) 2020年度の鉄道運転事故等について

2020年度は、開業以来初めての鉄道人身傷害事故(以下、「人身事故」という。)が1件発生しましたが、自社線内でのインシデントの発生はなく、比較的安定した輸送を提供できました。

ア. 主な遅延概況

JR内人身事故、踏切支障等の影響により、1ヵ月あたりの平均遅延本数25本、平均遅延時分150分でした。

イ. 鉄道運転事故

7月27日に、スーパーいなば11号が佐用駅構内で線路内に立ち入った人と接触したことによる人身事故が1件発生しました。

ウ. 主な輸送障害(運休または30分以上の遅延)

JR線内の遅れによるものが6件、智頭線内の遅れによるものが6件発生しました。

※台風接近等に伴う計画運休については、輸送障害に含まれません。

(8) 利用促進に向けた広告宣伝等の実施状況

地方鉄道の利用促進と沿線地域の振興を目的とした第三セクター鉄道等協議会に加盟する全国40社の鉄道会社による共同企画で、「鉄印帳」の販売(2,200円)及び「鉄印」の記帳(記帳代300円+各社の乗車券)を2020年7月10日から全国一斉に開始し、当期の累計で「鉄印帳」の販売が375冊、「鉄印」の記帳が2,744枚となり、多くのお客様にご利用いただきました。

また、新型コロナウイルス感染防止対策についての智頭急行オリジナル動画を作成し、当社ホームページ及びスーパーはくとの車内で公開し、駅、車両、乗務員等の消毒、換気、手洗い等の取組みをお知らせして、お客様に安心してご利用いただくよう呼びかけるとともに、お客様にも感染リスクの低減のための取組みを呼びかけました。

なお、当期は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う移動自粛の要請等があったこと等を踏まえて、利用促進に向けたキャラバン、PR活動、当社主催のイベント列車の企画等は、行いませんでした。

2. 会社に対処すべき課題

(1) 安全輸送

- ・安全最優先の意識の醸成、判断力の向上
- ・社員一人ひとりの知識、技術・技能の向上
- ・社員相互間・部外関係機関と連携した対応能力強化

(2) CS向上(お客様満足度の向上)

- ・お客様が快適にご利用いただける列車運行、使いやすい商品の充実
- ・お客様にご満足いただける質の高いサービスの提供

(3) 地域社会

- ・地域と連携し、地域経済の持続的な発展への貢献

(4) 財務運営

- ・新型コロナ禍において、従来の業務の進め方、設備管理等の見直しによる経費削減
- ・新型コロナ収束後に向けて商品の充実を図ることなどによる収入の安定確保
- ・補助金等の積極的な活用及び業務の効率化による効率経営

(5) CSR（企業の社会的責任）

- ・地域社会から信頼される企業を目指す
- ・社員一人ひとりのコンプライアンスの理解の深度化及び誠実かつ公正な事業活動の実施

(6) 人材育成

- ・自己研鑽の奨励、業務を通じての知識及び技術・技能の習得等
- ・JR西日本、協力会社等と連携した人材育成

(7) ES向上（従業員満足の向上）

- ・明るく働きやすい職場環境を目指す
- ・社員の健康維持・増進等への取組み

(8) 新型コロナウイルス感染症対策

- ・「マスクの着用」、「手指の消毒」などの感染拡大防止対策の徹底
- ・国及び各自治体からの指導による感染予防策等の遵守
- ・コスト意識を持ち、前例主義にとらわれない作業方法・手順等の見直し

3. 営業成績及び財産状況の推移

区 分	第32期	第33期	第34期	第35期(今期)
営業収益(千円)	2,794,045	2,693,311	2,763,021	1,907,690
当期純損益(千円)	152,224	111,788	147,910	△281,157
1株当り当期純損益(円)	16,914	12,421	16,434	△31,240
資産合計(千円)	5,956,445	5,932,684	6,060,434	5,654,949

II. 会社の概況（2021年3月31日現在）

1. 主な事業内容

鉄道事業法による旅客の運送業及びこれに附帯又は関連する事業

2. 主な事業所

本社 鳥取県八頭郡智頭町智頭
運輸部 鳥取県八頭郡智頭町智頭
大原事業所 岡山県美作市古町

3. 株式の状況

期末の株式の状況は、次のとおりであります。

- ① 会社が発行する株式の総数 20,000株
- ② 発行済株式の総数（額面普通株式） 9,000株
- ③ 1株の金額 50,000円
- ④ 株主総数 45名
- ⑤ 株主 別掲のとおり

なお、当社の大株主への出資はありません。

4. 社員の状況

	社員数 (人)	前期末比増減 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続年数 (年月)
総務部	7	1	40.3	17年 2ヶ月
運輸部	65	2	40.9	16年 7ヶ月
合計	72	3	40.8	16年 8ヶ月

※常勤役員(2人)、契約社員(6人)を除く

貸借対照表

2021年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部	5,654,949,253	負債の部	197,462,506
流動資産	3,583,875,277	流動負債	197,462,506
現金・預金	2,411,005,297	未払金	160,879,392
未収運賃	304,814,548	未払費用	7,592,194
未収入金	65,450,045	未払法人税等	568,100
未収収益	1,446,831	預り金	1,992,042
有価証券	400,816,889	前受運賃	1,799,008
貯蔵品	327,715,255	前受収益	18,314,270
前払費用	12,034,512	未払消費税等	6,317,500
未収還付法人税等	31,608,700		
未収還付消費税等	28,923,200		
その他の流動資産	60,000		
固定資産	2,053,701,504		
鉄道事業固定資産	2,051,056,444		
有形固定資産	2,037,942,270		
無形固定資産	13,114,174	純資産の部	5,457,486,747
投資等	2,645,060	資本金	450,000,000
出資金	500,000	利益剰余金	5,007,486,747
差入保証金	2,020,000	利益準備金	2,700,000
預け金	125,060	その他の利益剰余金	5,004,786,747
		別途積立金	2,740,000,000
		固定資産圧縮積立金	2,540,000,000
繰延資産	17,372,472	繰越利益剰余金	△ 275,213,253
開発費	17,372,472		
資産合計	5,654,949,253	負債・純資産合計	5,654,949,253

損 益 計 算 書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位：円)

	科 目	金 額	
経 常 損 益 の 部	鉄道事業営業利益		
	営業損益の部		
	営業収益		
	旅客運輸収入	507,517,564	
	運輸雑収	1,400,172,543	1,907,690,107
	営業費		
	運送費	1,748,995,503	
	案内宣伝費	7,723,815	
	厚生福利施設費	1,766,200	
	一般管理費	102,429,107	
	諸税	63,914,836	
	減価償却費	377,229,226	2,302,058,687
	鉄道事業営業損益		△ 394,368,580
	営業外損益の部		
	営業外収益		
受取利息	14,938,959		
受取配当金	10,000		
雑収入	40,142,117	55,091,076	
営業外費用			
繰延資産償却	1,281,945		
雑支出	15,565,412	16,847,357	
經常損益		△ 356,124,861	
特 別 損 益 の 部	特別利益		
	補助金	93,872,400	93,872,400
	特別損失		
	固定資産除去損	6,535,011	
固定資産圧縮損	11,233,333	17,768,344	
	税引前当期純損益		△ 280,020,805
	法人税等		1,136,000
	当期純損益		△ 281,156,805

株主資本等変動計算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位：円)

	株主資本								株主資本合計	評価・ 換算差額等	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式					
		資本準備金	その他 資本剰余金	利益準備金	その他利益剰余金							
					別途積立金	固定資産圧縮 積立金		繰越 利益剰余金				
前期末残高	450,000,000	0	0	2,700,000	2,720,000,000	2,410,000,000	155,943,552	0	5,738,643,552	0	0	5,738,643,552
当期変動額												
剰余金の配当									0			0
剰余金の配当に伴う 利益準備金の積立て									0			0
積立金の積立					20,000,000	130,000,000	△ 150,000,000		0			0
役員賞与の支給									0			0
過年度税効果調整額									0			0
当期純損益							△ 281,156,805		△ 281,156,805			△ 281,156,805
当期変動額合計	0	0	0	0	20,000,000	130,000,000	△ 431,156,805	0	△ 281,156,805	0	0	△ 281,156,805
当期末残高	450,000,000	0	0	2,700,000	2,740,000,000	2,540,000,000	△ 275,213,253	0	5,457,486,747	0	0	5,457,486,747